

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		都市計画事務費[用途地域等照会対応事務]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	都市計画		課		都市計画		係	課長名	稲毛 秀憲		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備								総合計画書 (ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 主に土地利用や建築行為を行う事業者等				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 照会件数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 建築物の建築等を行う際に必要となる、用途地域等都市計画に関する情報を提供する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 照会への対応実績(照会件数/対応件数) →						
	③ そのために何をしましたか。 窓口や電話による用途地域等の照会に対し、職員がその場で調べて対応する。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 対応件数 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	件	1,913	1,697	1,588					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100			
目標値設定の考え方 照会のあった案件について確実に対応する。											
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	3,297,600	3,324,000	3,352,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	3,297,600	3,324,000	3,352,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、照会件数が減少した。										

事業名称	都市計画事務費[用途地域等照会対応事務]			
担当部署・課長名	都市計画	課	都市計画	係 課長名 稲毛 秀憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	特になし		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☐ 取り組んだ	取組手法：	
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）		
	特になし		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。		
	特になし		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
8	(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
	特になし		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
	施策名： 市街地の整備		
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止		
	【取組内容】		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		